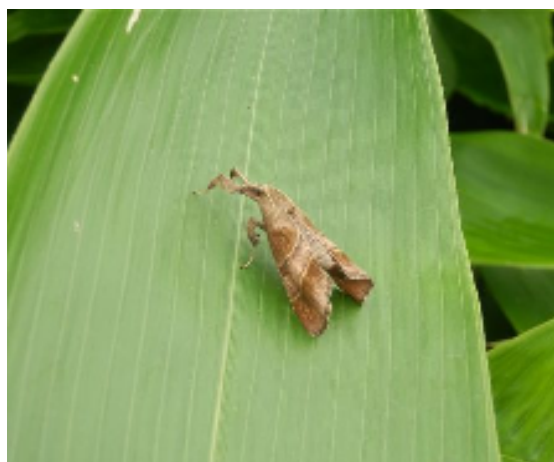


## チョウセントリバ?

クマイザサの葉に枯葉のかけらがくっついて  
いるように見えたが、いかにも不自然なの  
で近寄ってみました。かつて見たこともない奇  
妙な形のガだと思いました。まずはデジカメで  
撮影。2015年7月23日7時35分でした。

場所は支笏湖畔の当協会の定宿「支笏湖  
ユースホステル」北側の一般住宅区の一 corner  
の小さな笹叢です。出発時刻前にちよいと散歩が  
てら辺りを観察している場面でした。

帰宅してからいつものように色々調べました  
が何者なのかさっぱり判りません。ネットでガの  
画像を色々丹念に見ても該当する画像があ  
りませんでした。ひょっとしてこれかな?と思  
ったのがチョウセントリバという変なガでした。  
下の写真をご覧ください。トリバガ科の一種で  
チョウセントリバと命名されているガですが、静  
止している場合は飛行機の固定翼のように翅  
を開いているようなのです。なんとも不自然な  
姿に思えるのです。こいつが翅を閉じたらどん



な姿に見えるかを想像したら上の写真のようではなかろうか?と思うのであります。確信はありませんので表題の和名に?マークを付けておきます。どなたかご存知でしたら教えて下さい。分布は北海道、本州、朝鮮、インド、アジア、ヨーロッパ、アフリカ、北米とした記事があり、めっちゃ広いのです。出現は7月。食草はハマナスとのこと。日本でのハマナスの分布は北に偏っていると思うの

ですが、アフリカにも分  
布しているのか、類似  
のバラ科の植物がある  
のでしょうか。

支笏湖ユースホス  
テルは三角屋根のユニ  
ークな建物ですが、  
その部分は建設業者  
の事務所で、宿泊施設  
は奥の面白みもない建  
物になっております。

